

令和5年度 困難な問題を抱える女性への支援の在り方等に関する 調査研究事業に係る事業計画書等評価基準

本書は、「令和5年度困難な問題を抱える女性への支援の在り方等に関する調査研究事業」の事業者の決定に関する評価手順を取りまとめた評価基準書である。

1. 採点の手続き

提出された事業計画書等について、令和5年度困難な問題を抱える女性への支援の在り方等に関する調査研究事業採点票の各評価項目の要件を満たし、かつ、具体的な提案内容となっているか、特に有益と考えられる、実現が期待できる等の観点に沿って、以下の基準により採点を行う。

[基準]

- A：非常に有効な提案がなされている・・・・・・・・・・・・・・・・・・10点
- B：有効な提案がなされている・・・・・・・・・・・・・・・・・・7点
- C：提案がなされている・・・・・・・・・・・・・・・・・・5点
(標準と考えられる提案内容)
- D：劣る提案がなされている・・・・・・・・・・・・・・・・・・3点
- E：特に劣る提案がなされている、提案がなされていない・・・・・・・・・・0点

2. 事業者の決定方法

複数の評価者により採点された各評価者の採点結果（点数）を合計し、最も高い得点を得た事業計画書等を提案した提案者を事業者として決定する。

令和5年度 困難な問題を抱える女性への支援の在り方等に関する
調査研究事業採点票

提案者番号：

評価項目	評価基準	採点欄
1 事業内容・実施方法	・アンケート調査について、具体的な調査項目案が提案されているか。また、その調査項目案を提案された理由は妥当なものか。	
	・アンケート調査について、現状や課題が分析されるものが提案されているか。	
	・研修カリキュラムに関する情報集について、収集する具体的な研修が提案されているか。またその理由は妥当なものか。	
	・調査結果等について、具体的な分析の手法や、課題及び対策の検討方法が提案されているか。	
	・研修カリキュラムの策定について、必要なカリキュラム例など具体的な内容が提案されているか。	
	・助言等を受ける有識者について、具体的に提案がされているか。また選定した理由は妥当なものか。	
2 スケジュール	・事業スケジュールについて、事業目的・内容と整合し、効率的・効果的かつ現実可能なものとなっているか。	
3 組織体制等	・業務遂行のための必要な経営基盤及び組織体制（人員等）が整っているか。	
	・社会福祉施設等の実態調査や、福祉分野における研修カリキュラムの策定などに関する過去の実績を十分に有しているか。	
	・困難な問題を抱える女性への支援など、福祉分野に関する識見を十分に有しているか。	

合計

--